



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 新田ゼラチン株式会社  
 コード番号 4977 URL <http://www.nitta-gelatin.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(氏名) 曾我 憲道  
 (氏名) 佐々木 恒雄  
 配当支払開始予定日

TEL 072-949-5381  
 平成25年12月6日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	16,035	14.3	545	△38.9	630	△32.8	460	△34.3
25年3月期第2四半期	14,029	—	891	—	937	—	701	—

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 695百万円 (61.5%) 25年3月期第2四半期 430百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	27.34	—
25年3月期第2四半期	44.50	—

(注)25年3月期第2四半期の連結経営成績(累計)は会計基準等の改正に伴う会計方針の変更による遡及適用後の数値です。そのため、対前年同四半期増減率についての記載を行っておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	28,746	—	13,423	—	—	46.2
25年3月期	25,190	—	9,724	—	—	38.0

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 13,275百万円 25年3月期 9,577百万円

(注)25年3月期の連結財政状態は、会計基準等の改正に伴う会計方針の変更による遡及適用後の数値です。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,700	13.7	1,700	6.5	1,890	△4.5	1,380	△9.5	78.60

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

対前期増減率は会計基準等の改正に伴う会計方針の変更による遡及適用後の数値です。  
 また、当社は、平成25年7月29日を払込期日とする公募増資及び平成25年8月28日を払込期日とする第三者割当増資を実施いたしました。  
 この結果、1株当たり当期純利益は、公募増資による普通株式2,400,000株及び第三者割当増資203,900株の増加株式を含めて再計算しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	18,373,974 株	25年3月期	15,770,074 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	162 株	25年3月期	162 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	16,856,740 株	25年3月期2Q	15,769,912 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成25年11月7日(木)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。その際に使用する決算説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示に記載の通り、第1四半期連結会計期間より一部海外関係会社において改訂後のIAS第19号を適用しております。当該会計方針の変更は遡及適用されているため、前年同期比較にあたっては、会計方針の変更を反映した後の前年同期数値に基づき算出しております。

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、緩やかな回復傾向が続いていますが、米国の財政問題や新興国経済の減速等不透明な状況が続いています。一方、日本経済は、政府の政策、日本銀行の金融緩和により円安・株高基調で推移し、景気が緩やかに回復していますが、世界経済下振れの影響が予測されるなど不透明な状況が続いています。

このような中、当社グループにとっては、ゼラチンなどの製品原材料の価格上昇、日本におけるエネルギーコストの上昇と円安による輸入仕入れコスト上昇など厳しい環境となりました。

また、十分な設備投資資金の確保と財務体質の改善を目的として、7月の公募増資と8月の第三者割当増資により、2,603,900株の普通株式発行を行い、総額3,135百万円を調達しています。

このような状況のもと、当社グループは「Amaze the World!!－世界をあっと思わせる会社－」をスローガンとして、「Win out!! in growing Asian market－成長するアジアで勝ち抜く－」を基本戦略に、お客様の期待の一步先を行く製品・サービスの提供、新製品開発、新市場開拓、コスト削減に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は16,035百万円（前年同期比14.3%増加）と好調に推移しましたが、売上原価の増加を主要因として営業利益は545百万円（前年同期比38.9%減少）、経常利益は630百万円（前年同期比32.8%減少）、四半期純利益は460百万円（前年同期比34.3%減少）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① コラーゲン素材事業

ゼラチンは、日本では食用、カプセル用が増加しましたが、原材料価格の上昇、円安による仕入れ価格の上昇により採算性が低下しました。一方、海外では旺盛な需要を背景にした価格改定により、売上は好調に推移しました。

コラーゲンペプチドは、日本、アジア地域での販売が増加し、売上は堅調に推移しました。

コラーゲンケーシングは、北米での販売数量が伸び悩みましたが、円安の影響により売上は増加しました。

その結果、当該事業の売上高は、10,763百万円（前年同期比21.5%増加）、セグメント利益は、666百万円（前年同期比27.6%減少）となりました。

#### ② フォーミュラソリューション事業

食品材料は、製菓・デザートやハム・ソーセージ用が好調に推移しましたが、総菜用が低迷し、売上は伸び悩みました。

接着剤は、ホットメルト形接着剤が伸び悩み、売上は横ばいとなりました。

その結果、当該事業の売上高は、5,271百万円（前年同期比1.9%増加）、セグメント利益は、551百万円（前年同期比15.0%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末比3,555百万円増加の28,746百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が396百万円、受取手形及び売掛金が1,479百万円、商品及び製品などの棚卸資産が358百万円増加、また、コーラゲンケーシング設備更新及びコーラゲンペプチド工場建設に伴い有形固定資産が891百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比142百万円減少の15,322百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が272百万円、短期借入金が534百万円増加した一方で、長期借入金（1年内返済予定を含む）が927百万円、1年内償還予定の社債が200百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比3,698百万円増加の13,423百万円となりました。主な要因は、利益剰余金334百万円増加と公募増資及び第三者割当増資による普通株式発行により、資本金が1,567百万円、資本剰余金が1,567百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は46.2%（前連結会計年度末38.0%）となりました。

② キャッシュフローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末比396百万円増加の2,655百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は910百万円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益704百万円、売上債権の増加額1,389百万円及びたな卸資産の増加額229百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は1,381百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出1,248百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は2,645百万円となりました。主な要因は、株式発行による収入3,135百万円、長期借入金の返済による支出1,197百万円及び短期借入金の増加額497百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想は、平成25年5月10日に公表しました「平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の業績予想から変更はありません。

なお、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

一部の海外関係会社において、IAS19号「従業員給付」（平成23年6月16日）を第1四半期連結会計期間より適用しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期連結累計期間の四半期純利益は7百万円減少しております。また、前連結会計年度の期首の純資産残高は累積的影響額が反映されたことにより153百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,278,659	2,675,565
受取手形及び売掛金	5,839,913	7,319,485
商品及び製品	4,404,789	4,638,499
仕掛品	918,045	997,966
原材料及び貯蔵品	1,508,837	1,553,857
その他	385,762	656,731
貸倒引当金	△16,176	△16,375
流動資産合計	15,319,831	17,825,730
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,792,208	2,821,597
機械装置及び運搬具（純額）	1,343,676	1,328,885
その他（純額）	2,151,627	3,028,413
有形固定資産合計	6,287,512	7,178,897
無形固定資産		
その他	48,696	45,369
無形固定資産合計	48,696	45,369
投資その他の資産		
投資有価証券	2,768,381	2,998,734
その他	767,704	699,237
貸倒引当金	△1,809	△1,806
投資その他の資産合計	3,534,277	3,696,165
固定資産合計	9,870,486	10,920,433
資産合計	25,190,318	28,746,164

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,736,664	4,009,165
短期借入金	1,145,432	1,680,137
1年内返済予定の長期借入金	2,068,482	1,750,514
1年内償還予定の社債	200,000	—
未払法人税等	81,273	222,940
賞与引当金	220,847	160,378
その他	2,184,378	2,051,593
流動負債合計	9,637,079	9,874,729
固定負債		
長期借入金	3,142,014	2,532,302
退職給付引当金	2,276,795	2,263,916
役員退職慰労引当金	35,422	36,247
その他	374,344	615,636
固定負債合計	5,828,575	5,448,102
負債合計	15,465,655	15,322,832
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,577,121	3,144,929
資本剰余金	1,398,633	2,966,442
利益剰余金	8,194,375	8,529,131
自己株式	△68	△68
株主資本合計	11,170,062	14,640,434
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	499,868	628,979
繰延ヘッジ損益	27,858	△16,165
為替換算調整勘定	△667,634	△515,099
在外子会社の年金債務調整額	△1,452,870	△1,462,351
その他の包括利益累計額合計	△1,592,778	△1,364,636
少数株主持分	147,379	147,534
純資産合計	9,724,663	13,423,331
負債純資産合計	25,190,318	28,746,164



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	14,029,866	16,035,202
売上原価	10,706,327	12,835,048
売上総利益	3,323,539	3,200,154
販売費及び一般管理費	2,431,993	2,655,139
営業利益	891,545	545,014
営業外収益		
受取利息	768	4,236
受取配当金	10,573	10,826
為替差益	—	66,292
持分法による投資利益	124,290	73,135
その他	46,288	41,063
営業外収益合計	181,920	195,555
営業外費用		
支払利息	75,751	74,114
株式公開費用	—	23,385
為替差損	44,831	—
その他	14,895	12,660
営業外費用合計	135,478	110,160
経常利益	937,987	630,409
特別利益		
固定資産売却益	10,897	—
受取補償金	—	87,288
特別利益合計	10,897	87,288
特別損失		
固定資産除却損	9,028	12,998
投資有価証券評価損	9,871	—
特別損失合計	18,900	12,998
税金等調整前四半期純利益	929,984	704,699
法人税等	225,366	248,809
少数株主損益調整前四半期純利益	704,617	455,890
少数株主利益又は少数株主損失(△)	2,928	△5,025
四半期純利益	701,689	460,915

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	704,617	455,890
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△92,153	129,260
繰延ヘッジ損益	△12,646	△20,682
為替換算調整勘定	△192,922	219,473
在外子会社の年金債務調整額	72,924	△9,480
持分法適用会社に対する持分相当額	△49,466	△79,369
その他の包括利益合計	△274,264	239,201
四半期包括利益	430,353	695,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	427,147	689,057
少数株主に係る四半期包括利益	3,205	6,034

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	929,984	704,699
減価償却費	385,728	428,581
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,900	△54
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△60,101	△62,788
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△75,674	△24,739
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	825	825
受取利息及び受取配当金	△11,341	△15,063
支払利息	75,751	74,114
為替差損益 (△は益)	22,010	△21,886
持分法による投資損益 (△は益)	△124,290	△73,135
固定資産売却損益 (△は益)	△10,897	—
固定資産除却損	9,028	12,998
投資有価証券評価損益 (△は益)	9,871	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,417	△1,389,305
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△412,134	△229,535
仕入債務の増減額 (△は減少)	286,381	177,038
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△48,611	△66,723
その他	△268,013	△314,673
小計	704,999	△799,649
利息及び配当金の受取額	144,347	84,043
利息の支払額	△75,041	△74,771
法人税等の支払額	△401,770	△120,406
営業活動によるキャッシュ・フロー	372,534	△910,784
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△20,000	△20,000
定期預金の払戻による収入	20,000	20,000
有形固定資産の取得による支出	△436,582	△1,248,221
有形固定資産の売却による収入	13,315	—
無形固定資産の取得による支出	△29,309	△2,388
投資有価証券の取得による支出	△35,341	△3,593
投資有価証券の売却による収入	—	5,362
関係会社株式の取得による支出	—	△142,136
保険積立金の積立による支出	△4,566	△4,566
保険積立金の解約による収入	29,610	15,599
貸付けによる支出	△200	△120
貸付金の回収による収入	2,396	2,157
その他	△7,203	△3,881
投資活動によるキャッシュ・フロー	△467,881	△1,381,789

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△431	497,539
長期借入れによる収入	1,519,115	251,849
長期借入金の返済による支出	△1,002,303	△1,197,368
社債の償還による支出	△330,000	△200,000
株式の発行による収入	—	3,135,616
セール・アンド・リースバック取引による収入	63,570	392,335
リース債務の返済による支出	△63,374	△102,539
配当金の支払額	△126,159	△126,159
少数株主への配当金の支払額	△8,173	△5,880
財務活動によるキャッシュ・フロー	52,243	2,645,393
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21,319	44,085
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△64,422	396,905
現金及び現金同等物の期首残高	2,078,305	2,258,659
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,013,882	2,655,565

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成25年7月29日を払込期日とする公募増資及び平成25年8月28日を払込期日とする第三者割当増資を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間において資本金が1,567百万円、資本剰余金が1,567百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が3,144百万円、資本剰余金が2,966百万円となっております。

（セグメント情報等）

I 前第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	コラーゲン 素材事業	フォーミュラ ソリューション 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	8,855,882	5,173,984	14,029,866	—	14,029,866
セグメント間の内部 売上高又は振替高	610,207	—	610,207	△610,207	—
計	9,466,089	5,173,984	14,640,073	△610,207	14,029,866
セグメント利益	919,966	648,559	1,568,526	△676,980	891,545

(注) 1. セグメント利益の調整額△676,980千円には、セグメント間取引消去1,408千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△678,389千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	コラーゲン 素材事業	フォーミュラ ソリューション 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	10,763,955	5,271,246	16,035,202	—	16,035,202
セグメント間の内部 売上高又は振替高	679,876	—	679,876	△679,876	—
計	11,443,831	5,271,246	16,715,078	△679,876	16,035,202
セグメント利益	666,336	551,352	1,217,688	△672,674	545,014

(注) 1. セグメント利益の調整額△672,674千円には、セグメント間取引消去1,526千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△674,200千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

一部の海外関係会社において、IAS第19号「従業員給付」（平成23年6月16日）を第1四半期連結会計期間より適用しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期連結累計期間におけるコラーゲン素材事業のセグメント利益は9百万円減少しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。